中鯱城会だより

第45号

表紙裏の説明をご覧ください

2023年12月

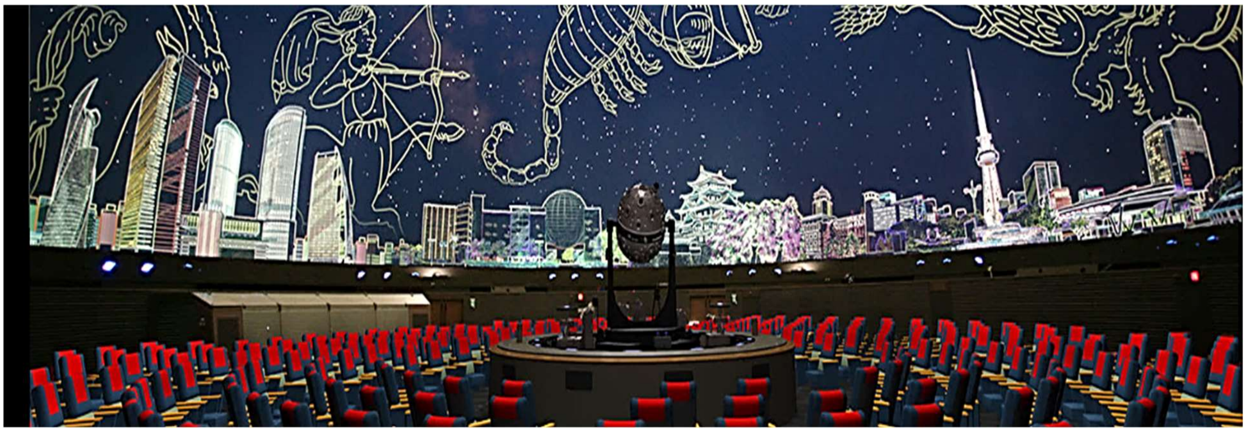
発行　中　鯱　城　会

名古屋市高年大学鯱城学園

もくじ

名古屋市科学館について	-----------	P　2
皆さんからの投稿	-----------	P　3～13
作品展　一覧	-----------	P　14～19
出展に想う	-----------	P　20～23

名古屋市科学館 は、愛知県名古屋市中区の白川公園内にある市立の科学館。



市政70周年の記念事業の一環として建設され､世界最大級のプラネタリウムである。限りなく本物に近い星空を再現するために、ドームの大きさは内径 35mと世界最大級の大きさを備えています。697 枚のパネルをつなぎ目がわからないようにつなぎ=わせ、ゆがみの無い球体を実現しています。ドーム内には、光学式プラネタリウムを中心に同心円上に座席が配置されており広い空間でゆったりと、楽な姿勢で星空を見られるようになっています。
左右に 30 度回転できる独立したリクライニングシートが、350 席設置されています。

各フロアーでは、最先端科学との出会い、エネルギーの世界、科学原理とのふれあい人体の不思議、生命の秘密、地球のすがた　などの体験・展示がされています。
また、大型展示で
・「水の広場」では、雲、雨、川、海の水の実験ができる。
・「竜巻ラボ」では、竜が昇っていくかのような高さ 9mの空気の渦を観察できる。
・「放電ラボ」では、そびえたつ 2 基のテスラコイルから、激しい放電音とともに 4m もの電気火花が放たれ、空中をのたうち回るように動きつづける電気火花は、電気エネルギーの激しさを実感できる。
・「極寒ラボ」では、日本初マイナス 30°C の展示室で、極寒の体験をしながら、いろいろな氷の実物や体験を見たり、極寒について知ることができ、オーロラの全天周映像も見られます。（ネットより）
皆さんも、時々体験されてはいかがでしょうか？

34期　坪田恵美

ちょっと気になる

「もの忘れ」

こんなことありませんか？

”もの忘れ”と”認知症”はちがいます
どこが違う？
加齢による「もの忘れ」と「認知症」の症状を見分けるポイント
★時間がかかっても思い出せる時は、年相応の「もの忘れ」
★ヒントがあっても思い出せない、その事自体を忘れる「認知症」

★年相応の”もの忘れ”は…
例）夕食に何を食べたか忘れる
＊体験したことの一部を忘れる。
＊大きく進行することはない。

★”認知症”が疑われる人は…
例）夕食を食べた事を忘れる
＊体験したことの全てを忘れる。
＊だんだん進行する。

ちょっと気になる？

□今日の日付け、曜日が解らない事がある。
□知っている人の名前や物の名前が出てこない。
□「何度も同じことを言う（聞く）」と周りの人から言われる。
□置き忘れ、しまい忘れが増えて、いつも探し物をしている。
□買い物でお金を払おうとしてもすぐ計算ができない事があり小銭が増えた。
□些細な事で怒りっぽくなった。
□おしゃれ、身だしなみに気を使わなくなった。
□清潔保持「風呂に入りたくない」入浴の頻度が減った。
□同じ物をいくつも購入してしまう。
□今まで使つかえていた家電製品の使い方がわからなくなった。

1問1点	点

あなたは何点だった？

いかがでしたか？
私は近年物忘れが増えましたが年相応の愛嬌**？**と受け入れています（笑）

坪田

「あ り が と う」

25 期　高木 義博

　私が中学 1 年生の時でした。同級生の T 君は病気の母の面倒を見ながら牛乳配達のアルバイトをしていました。ある日彼に「母の病気が悪化したのでもっと看病をしなくてはならないので、短期間で良いから変わってくれないか」と頼まれ、半年以上牛乳配達を続けたことがありました。
　昔の牛乳配達は頑丈な自転車の前輪に大きな木箱を左右 2 個掛け、牛乳ビンやヨーグルトを満杯にしてフラフラしながら配達していた。
　しかし配達前に牛乳ビンに油紙をかぶせ輪ゴムで止める作業がありました。
配達区域には玄関から裏まで奥深い仏壇屋さんが多く、雨の日の配達は大変で濡れない様に雨合羽でビンを覆いながら持って行くと中年の男性が「おい、雨にぬれた紙キャップの牛乳は飲めん」と交換させられた。いつも「牛乳です」と届けても何も言わないおじさんにこの様なことを言われ、とても悲しかった。
　ある寒い日、他の家のおばあちゃんは待っていたように出て来て「いつも寒いのにありがとうね」と声をかけてくれ、数個の飴を紙に包んで手渡してくれた時は涙が出そうにうれしかった。今でもその時の「ありがとう」の言葉を思い出します。
　この経験は 80 歳になった今でも何かあれば、心をこめて「ありがとう」を言いたいと思っています。

日本福祉大学中央福祉専門学校介護福祉課 交流会

34 期 福祉学科　坪田 恵美

　5 月 31 日、13 時 30 分 ～ 14 時 30 分迄　日福中央福祉専門校で学生さん達との交流会がありました。
中鯱城会では長く継続されている行事で、9 名参加させていただきました。
33・34 期生には初めての体験でした。
　反省会は介護福祉課生徒さんとの交流は楽しいひと時でした。
フレッシュな方々との会話は楽しい。
それぞれ、自分たちの目標もしっかりと掲げていました。
学生さんの未来を語る目は真剣。
若いエネルギーをいっぱい頂きました。
お行儀もよくしっかりとしたマナーも良かったです

　高齢者の尊厳を大事にしたおもてなしを受け、私達一同終始、笑顔、笑顔にさせて頂き感謝しています。

健康寿命を延ばそう

28期　山川 富久

80歳の壁を乗り越え、心身の衰えが目立って来た。もうすでに「フレイル」になっている。何とか要介護にならぬよう「食事」「運動」「社会参加」等で防ぎたい。
皆さん何をしていますか？

今年で100歳以上の人約9万人、80歳以上約1,200万人(10人に1人）と私達の仲間が増えているが喜んでばかりではいられない。
問題は健康寿命の年齢が男性約72歳、女性75歳と伸びていない。その間の人々は何らかの病気になっていること。そこで 要介護にならぬよう努力しなければならぬ。

心身の劣化は努力しなければ退化する。特に、脳、筋肉、骨は刺激を与えなければ退化する。又、刺激を与えれば強くなり若返る。楽しんで、運動して栄養のあるものを食べ、十分なる睡眠をとることは誰もが知っている。実行するか否かです。

2024年1月、中鯱城会の健康講話で皆さんと一緒に勉強したいので、よろしくお願いします。

三輪神社で相撲甚句を唄う

22期陶芸　浅井康洋

三輪神社氏子総代28期中川健次郎さんからのお声掛けで5月8日三輪神社大国祭後のイベントとして NHK 名古屋文化センター「相撲甚句を唄う会」の仲間と相撲甚句を披露しました。会場は境内で雨天なら中止、前日は雨模様で心配したが当日は素晴らしい五月晴れのもと腹式呼吸から発する大きな声で唄うことが出来ました。

中川さんには集客や歌詞カード配りを手伝ってもらい、つらい修行に耐えて関取を目指す力士の思いやちょぴりユーモアのある甚句を数曲、半ばで力士の給料と番付の関係、懸賞金はいくら？などのお相撲トークをまじえ大国講の会員さんや参拝客に楽しんで頂きました。

相撲甚句は演歌や民謡に比べて一般の人にはあまり馴染みのない唄なので老人会や施設慰問等の機会で紹介していきたいと思っています。
出前（巡業）もしますので気軽にお声掛けください。

呈茶ボランティア

33 期　和氣 明美

　中区社会福祉協議会の 2 階にある「デーサービスなか」から、喫茶コーナーでのボランティア依頼を受けました。
仕事内容は、ここに通われている利用者さんの中で希望される方に　コーヒー、パン、ヨーグルトなどをお出しすることです。
そして 8 月から呈茶ボランティアが始まりました。利用者さんと私たち、大差ない年齢ゆえ、若き頃の「あーだった」「こうだった」の話は懐かしくもあり、分かり合える楽しさもあります。

日曜日以外の、月に 25 日間ほど、朝 9 時少し前から 1 時間くらい。
皆さんもお忙しい時間帯ではありますが、中鯱城会の皆で力を出し合い、お互い様の気持ちでお役に立ちたいと思っています。
　現在 19 名で回していますが人手不足のため、月に 1 度の参加で良いので、皆さんからの参加連絡をお待ちしています。

夏の海でスイカ割り

28 期　水野 勇

　8 月、今年も暑い暑い燃えるような夏でした。
海の無い埼玉に住む三女が小さな孫達を連れて来たので、一緒に海へ出かけました。自分達で作った大きなスイカを持って来たので砂浜でスイカ割りをする予定にしていましたが、海でひと遊びしたあと周りを見たら、砂浜は綺麗で昔の様にスイカ割りが出来そうな雰囲気では無く心配になり、恐るおそるテント屋さんに浜辺でスイカ割りをしても良いのかどうか聞いてみたら　「最近は皆さんがスイカ割りをしなくなってしまったけど、どこでも良いのでどうぞ遊んで下さい」と言われたので、ちょっと照れ気味ながらも堂々と楽しみました。

　子供達は人混みを少し避けた場所で目隠しもせずに棒で叩き割り、あとは 3 人があっと言う間に手づかみで、、、、、、
　今夜は、初めて波を見た塩辛い海で、甘いスイカを食べたことを夢見るのかなぁ～　と思いながら少し離れて見守っていました。

コロナ狂騒曲

30 期　河合知子

9 月のある日、かかりつけ医院で「濃厚接触者です」と言われた。 え？　何？　思いもかけぬこと、気を付けて、気を付けて生活していたのに・・・。その日の夜中に高熱、まぎれもなくコロナになってしまった。5 類になった以降なので普通の風邪扱いで、症状も軽く 5 日間の外出禁止で済んだけれど。

振り返って、日本でコロナ感染者が初めて確認されたのは 2020 年 1 月 16 日、武漢から帰国した男性。世の中がなんとなくざわつき始め、これから何が起きるのか不安の中、当時、私は再入学の 33 期生で、2 月迄は講義もあったけど、2 月末に「今日で講義は終了」と言われ、その後の行事など殆どキャンセル。

それから始まった右往左往。少々高くてもマスクを求めあちこちへ、今までの金銭感覚もどこへやら。私の住む大須商店街も、殆どの店がシャッターを閉め、中国と取引のある僅かな店がマスクを販売していた。マスクだけでなく体温計、パルスオキシメーター、消毒液を必死の思いで買い求めた。
朝晩、検温、酸素飽和度測定と、それが毎日の日課となった。
人にはなるべく会わないようにしていたけど、会った時はその後お互いの無事を確かめ，ホッと一安心。

その頃から、TV などで初めて聴く言葉を、多く耳にするようになった。
パンデミック、クラスター、三密、ソーシアルディスタンス、重症化リスク、緊急事態宣言、医療従事者、濃厚接触者（『わが妻と濃厚接触してみたい』なんて言うシルバー川柳もあった）、エクモ、フェイスシールド、抗体検査、抗原検査、ワクチン接種、等々たくさん。

コロナはまだ終わっていないけど、そしてまだ 2，3 年前のことなのに何だか懐かしい。

又、すっかり忘れてしまっているけれど、コロナ変異株の最初に名付けられたのがアルファ、
次にベータ（ベータといえば余談になるけど苦い経験がある。その昔カセットテープで、ベータ・VHS 戦争というのがあり、結局ソニーのベータが負けた。私はベータだったので、後にデッキも製造終了になりたくさんの録画したテープは廃棄せざるをえなかった。今思い出しても悔しい・・・）
次がデルタ、ミュー、そしてオミクロン
今後どうなるのかわからないけど、多分オミクロンで終わりそう、否終わってほしい。

コロナ禍の状況の中でもあたふたせず、冷静に毎日を送っていた人も多くいたかもしれない。
私は、心配性で神経質な性格なので、コロナがとても怖かった。
これからの人生で、この様な事が起きた時、冷静に、良い解決方法を見つけて、機嫌よく生きていきたい、と思っているけれど、多分同じことを繰り返すのではないかしら、人は中々変われないので・・・。

楽しい晩学(川柳) のキッカケ(ボケ防止)　30 期　木原 榮二

平成 30 年 10 月のある日、先輩の成瀬雅子さんから「これ読んでみて､､､」と 1 冊の本を手渡されました、川柳の本を特養老人ホームでボランティア活動の時でした、

当時 81 歳、転勤で当地に移住して 50 年、77 歳まで勤務したこともあり所謂文芸、文学等には全く無縁でした、しかし痴呆症で苦労している知人を見て、呆けることだけは防ぎたいが、何をすれば良いのか迷っていました、

翌月、雅子さんの誘いでナデァパークの「名古屋番傘川柳教室」へついて行きました、教室は驚いたことに予想以上に明るく活気があり賑やかでした、当日勉強会の課題は「洗う」で、見よう見まねで 2 句創りました、隣の方が「前の方に居られる人に見て貰ったら」と言われ、先程の拙句を最前席の年配の方に「お願いします」と差し出しました、注意を受けながら修正された句が「ウォーキング心を洗い若返る」と、その間に例示された数々の言葉、瞬時に例示される新しい表現等々ただただ驚きの連続でした、後日、その時ご指導戴いた方は楽甫元会長と知りました、
教室の暖かく和やかな雰囲気と親切な指導を受け当日入会させて戴きました、

翌月の教室から約一年間、先生役のベテランの方々から、川柳の歴史、川柳は文芸、韻文、3 原則、着想、作句のテクニック等々筆舌に尽くせぬ指導を戴きました、
そのお蔭で 1 年少々で同人にも加えて戴きました、この川柳を学んで早速大きな恩恵を戴きました、それは突然、コロナ禍に見舞われた時でした、コロナ禍で外出会合が制限され巣ごもりの中で、退屈はおろか、毎日楽しく充実した毎日を過ごせました、それは、「五七五」と川柳を作ったり、先輩方の秀句を読んだりと毎日を楽しく考え、遊べたからです、

紙と鉛筆、時には消しゴムも、その楽しく充実した毎日を過ごせることで、当初目的のボケ防止にも役立っているなあと、喜んでいます、

心の絆創膏配布キャペーン　33 期　堀田 友三郎

9 月 11 日、名古屋市の「心の絆創膏配布キャペーン」が自殺予防週間を迎えて 4 年ぶりに始まり、中鯱城会は皮切りに地下鉄栄駅で担当しました。

私も含め半数のメンバーは初めての体験で、受け取っていただけるか不安でしたが、皆さんに受け取っていただけ、30 分もかからずに配布を完了しました。どうもお疲れ様でした。

中鯱城会講演会

28 期　水野 勇

「唄ってマジック見て体操　体験・単グラム」

9 月 13 日、今回の中講演会は、「マジックと体操サロン」として開催しましたが、前津福祉会館の認知症予防リーダーの皆さんのご協力で 30 人位が最後まで楽しく笑いながら終わることが出来ました。

まず、ワンチームになれる様に最初は皆さんが知っている「明日があるさ」の替え歌から始まると一気にまとまり、指ほぐし体操から、顔の体操、手足、腰かけたままのコグニ体操など間違ってもお互いさまで、皆で笑いながらどんどん進んで行きました。
傍から見ていると「流石にリーダーさん」で、素敵な笑いで流しながら誰も困らせない手さばきでした。

続いてマジックです。山川さんがビリビリに割いた新聞紙を花束に変えてしまったり、新聞紙で隠したコップの水がどこへ消えてしまったのか？何もこぼれず、濡れていない。

そして堀田会長のリングマジック、切れ目のないリングが絡まったり、外れたり「種も仕掛けもない」はずだけれど見ているだけで 「あれ？ あれ？ あれっ？」と思っている間に「は〜ぃ、終わり」。「そんなはずは無い ？？」と思いながらもマジックを充分に楽しませて頂きました。

参加の多くの皆さんが帰り際に「次回はいつですか？」と問われましたが「すみません、これは年に 1 度だけです」と申し訳なく答えるのが精いっぱいでした。　どうもありがとうございました。

グラウンドゴルフ交歓会　　　　　　　　　　30 期　河合 知子

　雲一つない快晴の 10 月 18 日、庄内緑地公園にて第 22 回鯱城会グランドゴルフ交歓会が開催されました。参加者数 160 名。

　中鯱城会からは、競技参加の伊藤守和さん、成瀬雅子さん、そして堀田会長、鯱城会幹事の朝日司郎さん、運営委員の河合の 5 名が参加。 競技が始まると、あちらこちらで 「あー行きすぎた」、「あー駄目だ」、「私のマーカーどこだった？」とか、そして時々ホールインワンを喜ぶ声などが聞こえてきました。

　中鯱城会のお二人は、残念ながら入賞できませんでしたが、成瀬さんがラッキー賞（参加者の中から抽選で）300 円をもらわれました。
鯱城会会員の高齢化が進み、更に会員の中でもより若い方は本来のゴルフをされている方が多く、グラウンドゴルフ交歓会の参加者の平均年齢が高く、怪我などの心配がありましたが、体調不良や怪我人もなく、無事終了することができました。
　来年は多くの方が参加され、他区と同じように中鯱城会ももっと賑やかに盛り上がったら良いな、と思いました。

ライン仲間の河村美津子です　　　　　　　　22 期　河村 美津子

　私から、まずトークすることはありませんが、皆さまのトークのやり取りを拝見して会に参画しているような気分になっています。
直接お役に立てませんが、いつも応援しています。

映画「福田村事件」を観て　　　　30期　朝日 英子

　今年の夏、話題となった映画「福田村事件」を観て衝撃を受けた。
1923年9月1日、関東大震災があり、東京では「朝鮮人が井戸に毒を入れた」という噂話が広がり、朝鮮人の大虐殺が始まった。
その5日後の9月6日、千葉県東葛飾郡福田村に住む約100人の村人たちが、香川から訪れた薬売りの行商団15人の内、幼児や妊婦を含む9人を利根川沿いで殺したのだ。行商団は讃岐弁で話していたので朝鮮人と疑われたらしい。
「朝鮮人なら殺してもいいのか？」と誰も疑問に思わなかったようだ。
　職業や民族に対する根拠の無い差別意識が長い歴史の中で人々の心の中に生まれ、あるいは植え付けられ、人間は下と思える者を平気で差別するようになっていったようだ。それは男女の間も同じだ。4年前の「愛知トリエンナーレ」が思い起こされた。
　今、世界のいたる所で紛争が起こり毎日大勢の人が死んでいる。「私には関係ない」と思っていては、いけない様だ。
　シネマスコーレという小さい映画館は補助イスを両サイドに並べ超満員の観客だった。終了後はため息まじりでパンフレットを買い求める人の列ができた。

美化清掃活動（金山地区）参加16名　　　　32期　長井 淳子

　天候不良のため中止が続いていた美化清掃活動ですが、10 月 18 日午前中は「曇り」との事で、金山地区の活動を行いました。
新しい旗も出来上がり早速参加者の記念撮影をしてから、いつもの様に2コースに別れて始めました。天候を考え早目に終らせる予定でしたが、いつも通りの時間まで活動しました。34期の鈴木さんから来期に向けての提案等もありました。
　連休中に参加の皆さん、そしていつも駆けつけて下さる中区社会福祉協議会の大原事務局長、ありがとうございました。

「中鯱城ボッチャの会」が頑張っています

33 期 健康Ａ　堀田友三郎

「中鯱城ボッチャの会」が 10 月 26 日に実施されたリモートボッチャ大会の中区会場で優勝しました。この日は北区、熱田区、東区、中川区、瑞穂区、中区２チームの各区代表８チームで戦われました。

中区では予選会(9 月 11 日実施）に 12 チームが出て「中鯱城ボッチャの会」が１位、「中区はつらつボッチャ部」が２位で中区代表に選ばれました。大会日は中鯱城会の年間行事がすでに入っていて代表メンバーに苦慮しましたが、「中鯱城ボッチャの会」メンバーの久保田富子さん夫妻、飯田千鶴子さんが出てくださり優勝することができました。

ボッチャは今年から鯱城会 16 区フェスティバルでもプログラムに入りました。ボッチャの会サロンは人気があり、毎月第２火曜日午後に実施していますが回数を増やしてほしいという声も出ています。ボッチャは高齢者、障がい者だけでなく子どもたちにも人気があり、世代間交流の場にも活用されるようになっています。ぜひとも多数のみなさんが参加して健康維持に努めていただきたいと思います。

社会見学　国宝虎渓山永保寺とランチ

34 期　白柳 みゆき

今年 10 月 26 日、中鯱城会社会見学で秋の雲一つない絶好のハイキング日和に虎渓山永保寺へ出かけました。JR 多治見駅に着いてからボランティアガイドさんと合流し永保寺を目指します。行く道すがら、どなたかがお茶の花が咲いているのを見つけました。椿の花に似ていますが、それより清楚で可愛らしい花です。お茶の花はなかなか珍しいですね。大きな蜂が飛んでいて足早にそこを去り、さらに目に入って来たのは、市松模様の庭でした。京都の東福寺の庭に良く似ています。

山門に着き更に進むと大きなイチョウの木が現れました。樹齢なんと 700 年。紅葉すると黄金色になるそうですが、少し早かったのでチラホラ色づき初めている感じでした。その頃に又見に来ようかと思います。それだけ写真に写っている姿は素晴らしいですね。

その奥に観音堂があり屋根の反りが美しい桧皮葺の建物です。まさに国宝の佇まいに圧倒されます。観音堂と青空を背景に全員で写真を撮りました。皆様いい表情です。

ここはパワースポットの様な気がします。奥の開山堂まで行き、戻って来ると結婚写真の前撮りをしているカップルに出会いました。自分達の時代には無かったな～なんて声が聞こえて来ました。これから幸せになろうとしている若者を見て皆様もそれぞれ思い出し楽しそうでしたが、遠い昔の事ですね。

永保寺の後はランチです。急な坂道を登ってお腹も空きました。登りきった所に和食のお店がありました。釜飯は一人ずつ炊き上げます。炊きあがるまで 30 分かかるのでその間に他の料理を食べましたが、どれも綺麗に盛り付けされ、美味しくて皆様満足そうでした。

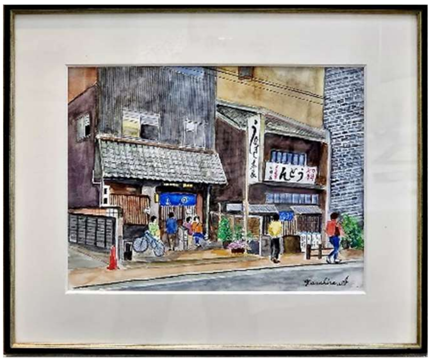
きょう１日で、貴重な文化財、歴史に触れ、楽しい出会いがありました。
美味しい食事もいただきました。計画してくれた先輩に感謝して、１日が終わりました。どうもありがとうございました😊

2023年 第17回中鯱城会 趣味の作品展目録 （展示順）

番号	期	専攻	名前	作品名	部門	壁	机
1	28	国際	荒川 萬理子	ブーケ （タペストリー）	手芸		
2	22	陶芸	浅井 康洋	撫でうさぎ	絵画		
3	22	陶芸	浅井 康洋	うなぎ と うどん	絵画		
4	26	美術	菅原 節子	エナガ団子	絵画		
5	28	文化Ｂ	中川 健次郎	アルプスに登ろう	絵画		
6	28	文化Ｂ	中川 健次郎	相棒（山の靴）	絵画		
7	32	地域Ａ	岩瀬 富美子	道	絵画		
8	32	美術	長井 淳子	上高地	絵画		
9	37	生活	川合 日出男	おめでた	絵画		
10	30	地域Ａ	岡本 洋造	薬師如来	仏画		
11	16	文化Ａ	松井 香保里	花	絵手		
12	28	文化Ａ	成瀬 雅子	花・野菜 など	絵手		
13	28	福祉	山川 富久	花	絵手		
14		講師	大野 貴子	花	絵手		
15	18	福祉	小倉 靖生	南無十一面観世音菩薩 （PC画）	PC画		
16	18	福祉	小倉 靖生	龍神と鳳凰 （PC画）	PC画		
17	28	生活Ａ	水野 勇	モアイ像	工芸		床
18	29	国際	鈴木 守宏	水面に映えるビル	写真		
19	29	国際	鈴木 守宏	凌霄花 （ノウゼンカズラ）	写真		
20	22	国際	河村 美津子	里（さと）滴る　美山かやぶきの里	写真		
21	22	国際	河村 美津子	宿（しゅく）装う　大内宿（福島県）	写真		
22	23	生活Ｂ	多川 裕弘	秋の彩り	写真		
23	23	生活Ｂ	多川 裕弘	錦秋	写真		
24	32	地域Ａ	岩瀬 富美子	鶴舞公園の賑わい	写真		
25	24	福祉	西川 淳子	クマガイソウ　23年5月 湯沢高原	写真		
26	24	福祉	西川 淳子	ヒマラヤの青いケシ　23年7月 北アルプス五竜	写真		
27	24	福祉	西川 淳子	コマクサ　23年7月 北アルプス五竜	写真		
28	26	環境	山田 晴久	奥祖谷二重かずら橋	絵画		
29	26	環境	山田 晴久	瀬戸内海	絵画		
30	26	環境	山田 晴久	十和田湖	絵画		
31	34	生活Ａ	和氣 明美	平家物語	書		
32	30	生活Ａ	河合 知子	一切唯心造 （いっさいゆいしんぞう）	書		
33	24	福祉	西川 淳子	山亭夏日	書		
34	30	地域Ｂ	木原 榮二	川柳	川柳		
35	33	健康Ａ	堀田 友三郎	川柳	川柳		
36	堀田 中川 成瀬 木原			川柳・小冊子	川柳		机
37	28	文化Ｂ	中川 健次郎	川柳	川柳		
38	28	文化Ａ	成瀬 雅子	川柳	川柳		
39	28	福祉	山川 富久	短歌	短歌		
40	27	文化Ａ	山岡 紀代子	短歌・短冊	短歌		
41	27	文化Ａ	山岡 紀代子	折り紙	折紙		机
42	22	陶芸	羽根 博雄	皿・鉢 など	陶芸		机
43	29	文化Ａ	安藤 啓子	花 花 花	植鉢		机

目録番号 1

2



3

4

7

5

6

15

9

8

16

目録番号 11

12

13

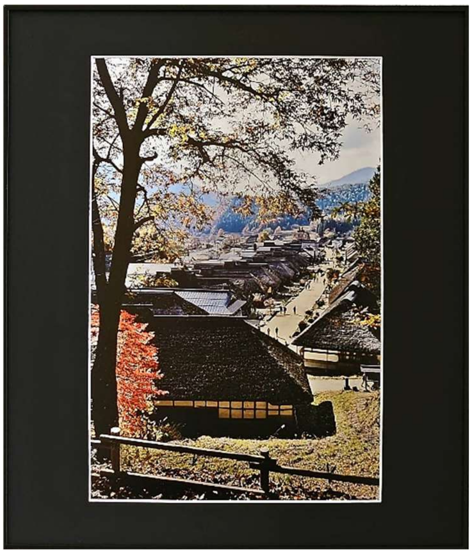
14

10

18

19

17

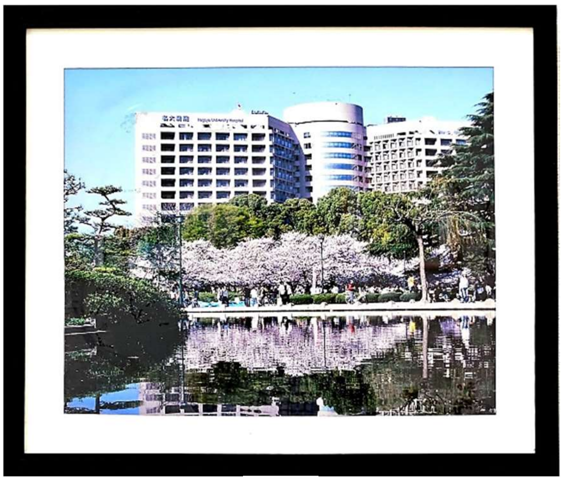


目録番号 21

20

22

23



24

25

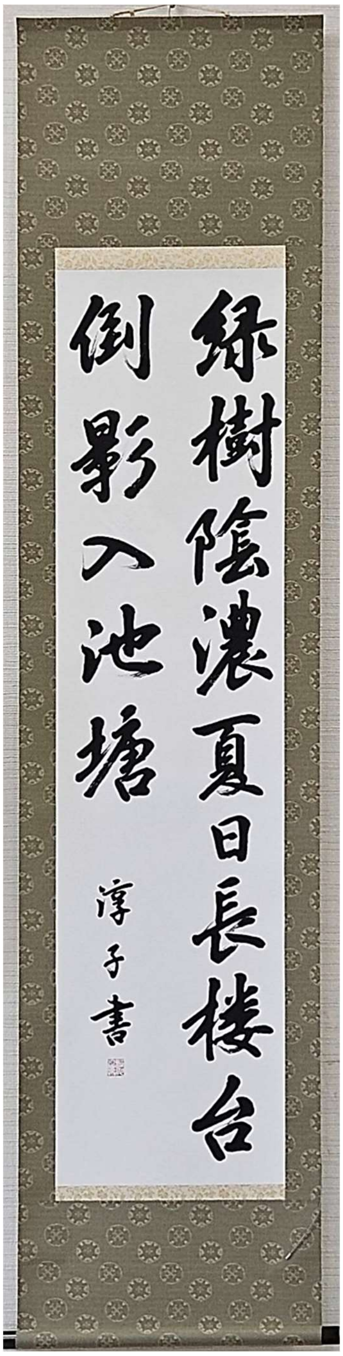
26

27

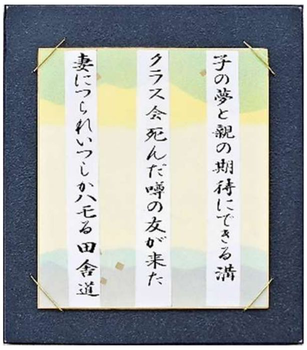
目録番号 28　29　30

31

32

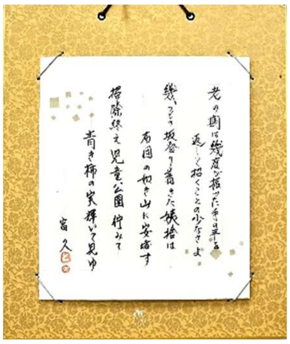


33



34

35

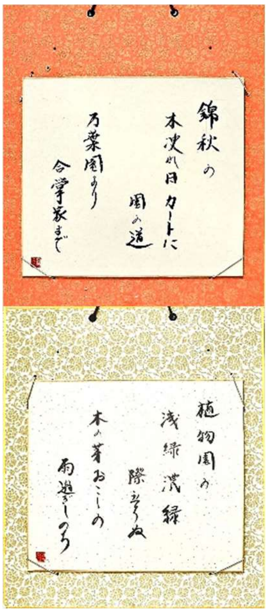


39

36

37

38



目録番号 40

41

42

43

作品展終了後 全員で

33 期 堀田 友三郎　　川柳三題（作品 35）

「川柳三題、初句は鯱城会スローガン、二句は自戒の句、三句は川柳拙句」
中鯱城会に入会し、最初の作品展に出て何か出展をと言われ、「川柳なら簡単そう！」と思い始めたが「川柳は文芸」で奥が深いものです。やっと少しづつ呼名出来るようになりました。　柳号　堀田友志

22 期 浅井 康洋　　「撫でうさぎ」・「うなぎ屋 とうどん店」（作品 2・3）

作品搬入日が前々日であることをすっかり忘れ、連絡受けて「アレー？」。
今月で 79 歳。「知力に体力、預金なく、増える薬に薄れる記憶」。物忘れ、思い込みが日常茶飯事の日々。今回の水彩画は今年の干支で賑わう三輪神社の「撫でうさぎ」と 知る人ぞ知る市政資料館西の老舗「うなぎ屋とうどん店」を画題としました。

29 期 鈴木 守宏　国際　　写真 水面に映えるビル・ノウゼンカズラ
（作品 18・19）

昨年にくらべて暑さが厳しい三日間でしたが、多くの方々にご来場賜り御礼申し上げます。写真は、市内を散歩しながら出展に値出来そうな写真となる所を見つけて撮りました。
一件は、テレビ塔の正面辺りにおりましたら水面からもやが立ちこめ、丁度建設中の中日ビルが綺麗にタイミングよく映っていたので撮影しました。
二件目は、8 月ノウゼンカズラが若宮通の一部の歩道辺りに満開近く咲いていた所を撮りました。来年は大きいサイズ写真にしてチャレンジしたいと思っています。

32 期 岩瀬 富美子　　鶴舞公園の賑わい(写真)、　道(画)（作品 24・7）

鶴舞公園はコロナ禍の前はとても賑やかでした、夜桜見物の場所取りは新入社員の担当とか、朝からシートを広げていましたね。
公園は、今年は春からリニューアルが行われ随分さま変わりしていますが、又以前の様に賑やかになる事でしょう。楽しみです。
いろいろと整理していたら懐かしいスナップ写真が目に止まりました。早速水彩画に と思い筆を走らせていると、故郷のいろいろな懐かしい思い出が蘇り楽しく描くことが出来、下手なよこ好きですがこれからも描き続けたいと思っています。

28期 山川 富久　　展示会参加の皆さんへ（作品13・39）

毎年、中鯱城会の行事として「短歌」と「絵手紙」を出展している。皆さんの作品を見て 何日間か又は何ヶ月間の努力の成果と、楽しんで得た成果と思う。 私もその一人です。出展者の皆さんが楽しんだと共に、物づくりの楽しみは本人しか得られないし、大勢の人と共に楽しむことは最高の脳の活性化、認知症予防、老化防止になると思う。

展示会を実行してくれた役員の皆様の努力に感謝すると共に幸せあれと思う。
仏教で「大楽はねはんなり、ねはんは大楽なり」と言う。「大勢の人と楽しむ事は幸せになる」との事です。

展示会出展で楽しめました。皆さんにありがとう。

33期 和氣 明美　　平家物語（書）（作品 31）

私は子供の頃から字が下手で、ず～っとコンプレックスを持っていました。
大人になり、ペン習字と小筆での習字を始めました。憧れだった草書も習い、書いたのが今回出展した「平家物語」の一部です。
現代語にすると、白河の院が熊野詣での帰りに休息のため平邸に立ち寄った。そこで生まれたばかりの子が夜泣きをして困っていると忠盛から聞き、贈った歌が「夜泣きすと忠盛たてよ末の世に清く栄ふることもこそあれ」でした。

この歌により、その男の子は清盛と名付けられたそうです。

30期 木原 榮二　　川柳「クラス会死んだ噂の友が来た」（作品34）

高校卒業して 50 年、お互いに古希を迎える歳になり、次のクラス会を最後の会にしようとの案内がありました。
福岡での最後のクラス会に思いもかけない、飛び入りがありました。
過去50年間一度も音沙汰なかった友が「ヒョッコリ」顔を出したのです。
一同ビックリ、「お前、生きていたのか」が第一声でした。
聞けば、仕事で東南アジアへの出張が多かったとのこと。

昨年 10 月　句会の課題「サプライズ」にこのビックリしたことを思い出し、掲題句を投句しましたら　後日、令和 4 年度　愛知川柳作家協会 年間優秀句集で秀句に選ばれ、全く予期せぬ「サプライズ」でした、

28 期 成瀬 雅子　　絵手紙と川柳画（作品 12・38）

絵手紙は、中鯱城会入会後同好会に入れて頂き、以来ずっと出展し下手ながら楽しんでいます。

川柳は 3 年前から出展。最初は句のみでしたが次は句に挿絵も付けてみました。
中鯱城会に川柳コーナーが見当たらなかったので紹介と宣伝？をさせて頂き、今年で 3 回目になります。1 回目は木原榮二さんと 2 人でしたが、今年は堀田友三郎さん、中川健二郎さんも加わり、4 人で賑やかになり嬉しく思います。

川柳は入りやすく奥が深い文芸です。紙・鉛筆・辞書があればいつでもどこでも、1 人でも大勢でも楽しめます。費用も殆どかからず、寝たきりになってもボケない限り（少しボケかけても？・笑）一生続けたいと思っています。

16 期 松井 香保里　　絵手紙の思い出（作品 11）

2011 年 2 月、中鯱城会の絵手紙クラブへ入会。
父を見送った母が淋しくしていましたので「絵手紙でも」と初心者ながら思い立ち、始めました。8 期の中井周三さんが、あっという間に花を題材に風情ある絵を 2～3 枚仕上げ、ほれぼれと見とれつつ、それをお手本にして描き、「それなりですよ」と褒められ、あれから 10 余年下手なりに続けています。
花を愛で、皆さんと楽しい時間に感謝しています。

30 期 河合 知子　　一切唯心造（書）（作品 32）

書道と呼べる程のものではなく、恥ずかしながら出展しました。
無になれる時間を持つことができる事は幸福なことと思っています。

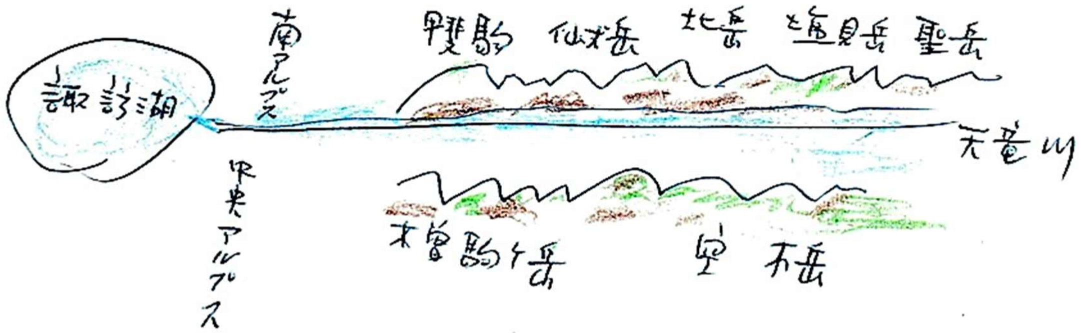
28 期 水野 勇　　モアイ像（作品 17）

最初はモアイ像をアクリル画で描いてみたのですが、少し遠くから眺めるとどうしても海辺に立つお地蔵さんにしか見えず、諦めて考えてもいなかった本物のモアイ像を作ることになりました。
会場で多くの皆さんから作り方の質問がありましたが、本体は発砲スチロールで成型後、周り全体を和紙で張り、そのあと砂で岩状に仕上げました。

家の中は、2 ヶ月間位は毎日どれだけ丁寧に清掃しても、あちこち静電気を帯びた白い発砲スチロール粉と細かい砂がいつまでもどこまでも付いてきました。

28 期 中川 健次郎　　　アルプスに登ろう、相棒（作品 5・6）

名古屋から中央道恵那山トンネルを越えると南アルプス 3,000m級の山々が見え、左手に中央アルプス木曽駒ヶ岳、空木岳が見えてきます。今はすでに雪がのっている頃だと思います。その真ん中を諏訪湖から天竜川が流れ太平洋まで続いています。
南アルプスの入り口で山開きの日、多くの登山者が心ウキウキして一番バスを待っている絵です。
その日は甲斐駒ヶ岳(2,967m)、翌日アルプスの女王仙丈岳(3,033m)に挑戦しました。



32 期 長井 淳子　　　上高地の思い出（作品 8）

今年 5 月末、観光バスで上高地に行きました。50 年前の私達は新宿から「あずさ号」に乗り、松本･新島々駅下車、タクシーで上高地に入るのがグループの常でした。
ザックを背負いキャラバンシューズで穂高の山々、大正池、河童橋など歩きました。
50 年を経て道も良くなり木々さえもこ洒落て見えました。私の方は足腰が弱くなり気力さえも衰えて来て上高地の山々に励まされ、記念に水彩画を描きました。

編集が終わって

今回も たくさんの皆さんのご協力に感謝しています
これからも 投稿よろしくお願いします

水野・伊藤

名古屋市高年大学鯱城学園
中 鯱 城 会

中鯱城会皆さんのご協力で第45号が完成出来ました
どうもありがとうございました

発行：中鯱城会・名古屋市高年大学鯱城学園

発行責任者：中鯱城会会長　33期 堀田友三郎

編集：水野 勇　 伊藤 守和